

短 報

葉状地衣類 タナカウメノキゴケ *Canoparmelia texana* (Tuck.) Elix & Hale の新産地について

川 又 明 徳*

New locality of *Canoparmelia texana* (Tuck.) Elix & Hale; foliose lichens, in Ehime Prefecture, Shikoku, Japan
Akinori Kawamata

ABSTRACT

A foliose lichens *Canoparmelia texana* (Tuck.) Elix & Hale was recorded in Tobe Town and Iyo City, central part of Ehime Prefecture in November 2008. This locality is in the forest along the 53rd prefecture road, and the habitat exists in mountain areas.

This discovery is the first record in Shikoku island, Japan and it shows a southern limit of the locality in Japan.

タナカウメノキゴケ (*Canoparmelia texana* (Tuck.) Elix & Hale) (Fig. 1) は, *Parmelia pseudorutidota* Asahina として長野県の標本に基づき新種記載され (Asahina 1952a,b), また *Parmelia tanakae* Asahina として奈良県産の標本に基づき新種記載され (Asahina 1954), 現在ではウメノキゴケ科ハイイロウメノキゴケ属 *Canoparmelia* Elix & Hale in Elix et al. に含まれる (Harada et al., 2004). 本種は中形の葉状地衣で, 見た目には灰白色になったキウメノキゴケのような印象を受ける. 地衣体背面の周辺部を除き盛り上がった部分を中心に顆粒状の粉芽を散生的につける. 近縁種として, 同じハイイロウメノキゴケ属に属するシラチャウメノキゴケ *C. aptata* (Krempelh.) Elix & Hale とオワリウメノキゴケ *C. owariensis* (Asah.) Elix の 2 種が知られている. タナカウメノキゴケとシラチャウメノキゴケが粉芽をつけるのに対して, オワリウメノキゴケはパステールをつけることで区別される. そして, タナカウメノキゴケとシラチャウメノキゴケは形態が非常に似ているが, 本種が髄層にデバリカート酸を含むのに対し, シラチャウメノキゴケはベルラトリン酸を含むため, 区別することができる (吉村 1974). 本種は国内では分布記録に乏しい稀産種である. これまでの記録として, 長野県 (Asahina 1952a,b), 奈良県 (Asahina 1954), 神奈川県 (原田 他 2002) でそれぞれ 1 ヶ所, 千葉県 (原田 1996, 原田 他 2002) で 2 ヶ所が挙げられる. また, 和歌山県, 三重県, 滋賀県, 京都府, 兵庫県 (山本私信) でも生育が確認されている. 筆者は愛媛県伊予市および伊予郡砥

部町においてタナカウメノキゴケの生育を確認したので, ここに報告する. なお, 本報告が標本に基づく四国からの本種の分布の初記録となると共に, 本種の国内における南限記録となる.

今回確認されたタナカウメノキゴケの新産地は, 愛媛県伊予市両沢及び, 伊予郡砥部町鵜之崎の山林である (Fig. 2). 周辺の樹木にはウメノキゴケ, キウメノキゴケ, ナミガタウメノキゴケ, マツゲゴケ, クロウラムカデゴケ, キウラゲジゲジゴケ等が生育しており, 地衣類相は生育量と種数共に豊かである. 今後, 四国 4 県において詳細な調査が行われた場合, 新たな産地が確認される可能性があると考えられる.

検査標本

愛媛県伊予市両沢 [5032-46] *, 標高 300m, 植栽サクラ樹皮, 川又 no.08110403

愛媛県伊予郡砥部町鵜之崎 [5032-46] *, 標高 400m, 植林スギ樹皮, 川又 no.08110410

(*二次メッシュコード)

Fig. 1 タナカウメノキゴケ *Canoparmelia texana* (Tuck.) Elix & Hale

Fig. 2 タナカウメノキゴケの生育状況 (愛媛県伊予郡砥部町 2009年1月13日撮影)

謝 辞

本稿を報告するにあたり, 秋田県立大学生物資源科学部山本好和教授には標本の化学成分分析をして頂いた. また, 千葉県立中央博物館原田浩上席研究員には標本の

*愛媛県総合科学博物館 学芸課 自然研究科
Dept. of Natural history Ehime Pref. Science Museum

同定確認と助言を頂いた。以上の方々に記してお礼申し上げます。

引用文献

- Asahina (1952a) : Lichenes Japoniae novae vel minus cognitae.(9). J.Jpn.Bot.27.pp15-18.
- Asahina(1952b) : Lichenes of Japan. Vol. II .Genus Parmelia. 162pp.
- Asahina(1954) : Lichenologische Notizen. J.Jpn.Bot.29. pp370-372.
- 原田浩 (1996) : 千葉県産の地衣類 (2). 稀産種等 8 種. 千葉中央博自然誌研究報告特別号 (2). pp157-160.
- 原田浩・今井正巳・川名興 (2002) : 分布資料 (1) タナカウメノキゴケ *Canoparmelia texana*. Lichenology Vol.1, 1. pp23-24.
- Harada H・Okamoto T・Yoshimura I (2004) : A checklist of lichens and lichen-allies of Japan. Lichenology Vol.2,2. pp47-165.
- 吉村庸 (1974) : 原色日本地衣植物図鑑. 保育社, 大阪. PL48+349pp.



Fig. 1 *Canoparmelia texana* (Tuck.) Elix & Hale タナカウメノキゴケ
Bar= 1 cm



Fig. 2 生育状況